



子どもの姿から成長を見る

～ 1年を振り返って ～

3月号 時保育園

今年度の月だよりは、園児の様子を幼児期の終わりまでに育ててほしい“10の姿”に焦点を当ててお知らせしてきました。遊びや散歩を通してしっかりと体を動かすことで体幹が育ち、年齢ごとの集中力もついてきました。また、規則正しい生活をする中で時間的な見通しをもって生活することもできるようになってきています。4月からの様々な活動の中で取り組んできたことが、成長につながっていることを実感しています。

【健康な心と体】◎日々の活動（遊び）で姿勢を意識して座る

春は園外保育でたくさん歩いた事。夏は川遊びで、流されないように両足を踏ん張って川の中や河原を歩き、川に入るまでの土手を上り下りした事。秋は運動会で思い切り走る経験を重ね、天気の良い日は神社や烏帽子登山道など、少し遠い所まで出かけた事。冬は雪を踏みしめながら足を踏ん張って歩いた事など、1年を通して体を動かすことを楽しめる活動を保育の中に取り入れてきました。日々の積み重ねにより、『胸を張り背中を伸ばす（椅子に座る）』や『腹筋や足に力を入れて座る（床に座る）』など、姿勢を意識して座れるようになってきました。時地区の自然や地形を活かし、園外保育を十分に楽しみながら丈夫な体作り（体幹）が育っていることを実感しています。



4.5 歳児



2.3 歳児

【健康な心と体】【協同性】【思考力の芽生え】【自立心】 ◎しっぽとり



バンダナをしっぽにして、しっぽ取り鬼ごっこをしました。しっぽを取られないように後ろを気にしながら、前後左右に逃げる。鬼の子は逃げている友達の姿を見ながらしっぽをつかみ取る。急な方向転換に足でブレーキをかけて次の行動に移る『素早く動く（瞬発力）』や、しっぽが取れるまで諦めずに最後まで追いかける『走り続ける（持久力）』が身についてきました。しっぽを取られて悔しくて泣く姿もありますが、次の日には「もう一回やる」「次は取られないように頑張る」と気持ちを切り替えて参加する姿にも成長を感じています。



【健康な心と体】【協同性】【思考力の芽生え】など ◎ソリ遊び

今年も雪が降り、冬ならではの遊びを楽しむことができました。ソリに乗り、最初は「ちょっと怖い」と不安そうだった子も、1回滑ると楽しさが分かり、「もう1回」とソリを持って坂道を登り、繰り返し楽しむ姿がありました。また、異年齢の友達を誘い「〇〇ちゃん乗っていいよ」と大きい子が乗せて引っ張ってあげたり、「代わって」「一緒に乗ろう」など、大きい子にかけてもらった言葉を真似て使い、小さい子も友達と関わって遊ぶ姿がありました。少人数だからこそできる異年齢間での成長の姿を感じています。



【日々の生活で大切な習慣をチェック！】

- 片付けはできていますか？（使ったら元にもどす）
- かばんをかけて、帽子をかぶって登園できていますか？
- 自分で衣服の着脱ができていますか？
- テレビやゲーム、YouTubeの時間を決めて守っていますか？
- 食事中、食べ終わるまでは座っていますか？

基本中の基本ですね。急にできるようになるものではありません。年齢は低くても毎日の生活習慣の見直しは大切です。出来たことを認め、1つ大きい組になることや、学校に行くことに自信と期待がもてるよう一緒に喜び合い、少しずつ毎日の習慣にしていきましょう。